

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリ1～3、5～6）

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>情報発信・先駆的取り組みの実施から多くの関心が寄せられている カラー刷りの事業所パンフレットを作成しており、利用料金、施設概要、サービス内容等が掲載されている。利用者のニーズに沿うため先駆的取り組みを実施していることから地域から多くの関心が寄せられている。現在法人グループとしてホームページの作成をしており、その中にて更に細かな情報を発信していく計画をしており、併設の短期入所のアピール・法人の公開情報の発信に努めていく意向をもっている。</p> <p>関係機関との情報共有をもって協働した取り組みとなるよう努めている 行政、相談支援事業所とは連携して利用者の支援を実施しており、関係構築・情報共有をもって協働した取り組みとなるよう努めている。「日中サービス支援型共同生活援助である・医療依存度の高い利用者が多く在籍すること」から地域の社会資源との連携が必須であり、それらを中心となってまとめていくマネジメントスキルを有している。</p> <p>体験・短期入所を活用しながら入居希望者への対応が進められている 利用者・家族が理解したうえで入居が開始されるよう体験・短期入所を活用しながら進められている。また体験期間中に前もって得ている情報の整理・齟齬の修正を図り、意向に沿った生活となるかどうか精査にあたっている。「開設から退所者が出ていない・機会を失わせたくない」ことから待機者をつくることをしていない。要望から新たなホーム建設を予定しており、地域ニーズに応える運営がなされている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、利用者の不安やストレスが軽減されるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
重要事項説明書を用いて入居時の説明にあたっている 入居時には重要事項説明書を用いて説明にあたっており、災害時の対策・契約の解除・身体拘束の禁止・苦情相談の申し立て・「重度化した場合における対応に関する指針」が附属されており、医療連携体制、費用の取り扱い等が記されている。体験・短期入所の実施中に主な説明を済ませ、理解したうえで契約に臨めるよう配慮がなされている。		
それまでの支援が継続されるよう検討と配慮に取り組んでいる 入居前に実施したアセスメントにより生活歴・既往歴等を確認し、それまでの支援が継続されるよう検討がなされている。管理職には利用者の気持ちが理解できる人材が配置されており、丁寧かつ慎重な支援により移行期を安心して過ごしてもらえるよう努めている。また入居時には「持ち物一覧」と題した書面を渡し、衣類・日用品・貴重品等ホームでの生活に必要な物を示し、スムーズな接続となるよう配慮している。		
これまでの運営経験を活かし、多くの情報を提供できる環境形成に取り組んでいる 開設から退所者がいないが将来のことを見据え、支援会議、相談支援事業所と連携した取り組みに努めている。退居の際にもこれまでに培ったノウハウや人脈を活用し、多くの情報を提供できる環境形成に取り組んでいる。法人グループにより利用者の特性・地域性を考慮したグループホームが複数設置されていることから利用者・家族が選択肢をもてることを目標に運営が進められている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	10/10
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
●あり ○なし	3. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当	
評価項目3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
観察とあわせて利用者の意向を反映した情報作成・支援検討がなされている 利用者・家族から心身状況・生活状況を聴取し、基本情報としている。体験・短期入所時の観察とあわせて利用者の意向を反映した情報作成に当たり、利用者ごとのファイルにおさめ、いつでも職員が確認できるよう整理している。半年ごとに利用者との個人面談を実施し、意向の変化や支援方法の見直しを検討している。			
利用者個別の支援、特性を考慮したケアが実践されるよう仕組みが構築されている サービス管理責任者を中心に個別支援計画の策定がなされており、利用者の気持ちや表出しない意見を支援に反映できるよう努めている。また独自の支援資料を作成し、利用者個別の支援、特性を考慮したケアが実践されるよう仕組みが構築されている。利用者へ選択肢をもってもらえるよう、提案ができる支援となるよう職員への指導にあたっている。			
各種ツールの活用により日々の変化に対応できるよう取り組んでいる 毎朝の申し送り時に利用者の情報を共有しており、日々の変化に対応できるよう取り組んでいる。またソーシャルネットワーキングシステムの活用、支援ソフトの利用、記録用紙や情報共有ツールの使用によりタイムラグなく情報を共有している。全職員による全利用者の把握を掲げており、更なる確実な伝達を目標としている。			

サブカテゴリ-5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 利用者のプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 利用者に関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、利用者の同意を得ようとしている
○非該当	
●あり ○なし	2. 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮した支援を行っている
○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
○非該当	
サブカテゴリ-5の講評	
<p>利用者が不快に思わないよう細かな配慮に努めている 個人情報の取り扱いについては、入居時に個人情報管理契約書をもって説明し、同意を得ている。また個人の所有物や郵便物についても利用者本人に確認しながら取り扱いにあたっている。アセスメントと日々の観察により利用者の意向を把握しており、利用者が不快に思わないよう細かな配慮に努めている。</p> <p>職員と利用者が対等な関係において支援がなされることをモットーとしている 職員と利用者が対等な関係において支援がなされることをモットーとしており、ホーム全体として差別や区別なく生活が送れることを基本方針としている。職員の配置は、国籍・信条等に関係なく行われており、支援側の多様性が利用者の自由な生活の実現に寄与している。また同性介助を基本とし、職員採用にあたってはバランスを考慮するよう努めている。</p> <p>思い思いに生活できるよう環境形成と支援に取り組んでいる 利用者の自由な生活を保障しており、趣味・起業など利用者が思い思いに生活できるよう環境形成と支援に取り組んでいる。また危険な物以外は自由に居室に持ち込むことができ、ホーム全体の規則で縛りを設けず、利用者の状態や意思を最重要視した支援が実践されている。新型コロナウイルスの影響により生活に制限が加えられる中、リモート機器の活用など工夫を凝らしながら利用者の生活充実に取り組んでいる。</p>	

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映している	○非該当	
サブカテゴリ6の講評			
<p>法人・事業所の方針のもと点検、仕組み作りがなされている</p> <p>利用者個別の支援をモットーとしており、ベースに関する標準化・最低限のマニュアル化により運営・支援を進めている。利用者の特性、具体的支援方法を文書化し、個別支援計画と共にファイリングがなされている。半期に一度点検を行う仕組みづくりがなされており、もれなく行える組織体制となっている。</p> <p>医療知識の研鑽、身体介護技術の向上を目標としている</p> <p>毎月職員ミーティングがなされており、情報と改善事項の共有にあたっている。職員間の風通しが良くなるよう努めており、わからないことは相談できる環境となるよう取り組んでいる。医療依存度の高い利用者が多いことから医療知識の研鑽、身体介護技術の向上を目標としており、その機会の拡充を図る意向を持っている。</p>			

II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)

サブカテゴリー4		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	23/23
サービスの実施項目			
1 評価項目1 個別の支援計画等に基づいて、自立した生活を送れるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいて支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりに合わせて、コミュニケーションのとり方を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 自立した生活を送るために、利用者一人ひとりが必要とする情報を、提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 周囲の人との関係づくりについての支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 関係機関と連携をとって、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>細かなケア・利用者の特性に沿った支援ができるよう取り組んでいる。</p> <p>利用者の気持ちがわかるサービス管理責任者を中心に個別支援計画が策定されており、細かなケア・利用者の特性に沿った支援ができるよう取り組んでいる。またホームで見守ることにより規則正しい生活を取り戻すなど自由とルールバランスを図りながら利用者本位の支援が実現するよう努めている。</p> <p>障害特性を把握し、利用者に合わせてコミュニケーションに努めている</p> <p>利用者一人ひとりの障害特性を把握し、利用者に合わせてコミュニケーションに努めている。意思を表明しづらい場合は表情・仕草・身振り等から推察し、利用者本位に考察しながら支援にあたっている。また他の利用者との関係作りにおいても職員が間に入りながら適切に共同生活をおくれるようサポートに取り組んでいる。</p> <p>協働して利用者を支えられるよう関係機関との連携に取り組んでいる</p> <p>相談支援事業所、医療機関等関係機関との連携を図り、協働して利用者を支えられるよう関係構築に取り組んでいる。特に入居前から利用していた外部サービスや学校等とは密に連絡をとり、相互に利用者の情報をやりとりできるよう努めている。利用者の最大の利益が考慮されるよう方針が組まれている。</p>			
2 評価項目2 利用者が主体性を持って日常生活を楽しく快適に過ごせるような取り組みを行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. グループホームでの生活は、主体的な活動が尊重されている	○非該当	
●あり ○なし	2. グループホーム内のきまりごとについては、利用者等の意向を反映させて作成・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 休日の過ごし方や余暇の楽しみ方については、利用者の意向を反映し、情報提供や必要な支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	4. 室内は、採光、換気、清潔性等に配慮して、過ごしやすい環境となるようにしている	○非該当	
●あり ○なし	5.【食事の提供を行っているグループホームのみ】 利用者の希望を反映し、食事時間が楽しいひとときになるよう工夫している	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>主体性ある生活ができるよう支援にあたっている</p> <p>利用者の自由を認めた生活が実行されており、友人を連れてくるなど主体性ある生活ができるよう支援にあたっている。またホーム全体におけるルールはあえて作らず、危険が伴うこと、他の利用者に迷惑がかかることなどを利用者一人ひとりに対して明確にし、職員が留意しながらサポートする方針をとっている。</p> <p>休日や余暇時に思い思いに過ごせるようサポートに取り組んでいる</p> <p>休日や余暇については、移動支援の活用、自宅への帰省などにより思い思いに過ごすほか、ホームでゆったりと過ごせるようサポートと環境形成にあたっている。入居前から定期的にアセスメントがなされており、利用者の好きなことや興味のあることをタイムリーに把握し、趣味や仕事に興じられるよう取り組んでいる。</p> <p>大人が生活する空間として落ち着いた雰囲気をつくりだすよう努めている</p> <p>大人が生活する空間として派手な装飾を好まず、障害特性を考慮した落ち着いた雰囲気をつくりだすよう努めている。また男女が入居しているため、ツールの利用によりセパレートするなど配慮にあたっている。また食事については利用者一人ひとりのこだわりや健康状態を考慮し、イベントや季節を意識しバラエティに富んだメニューとなっている。</p>			

3 評価項目3 利用者の状況に応じて、生活上の支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の状況に応じて、身の回りのことについて必要な支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の状況に応じて、家事(調理、洗濯等)について必要な支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の状況に応じて、金銭の管理や使い方について支援を行っている	○非該当
評価項目3の講評		
<p>利用者のできることを奪わないよう心がけたサポートに努めている 利用者の能力発揮を主眼として支援にあたっており、利用者のできることを奪わないよう心がけたサポートに努めている。居室の清掃、身支度、清潔保持など利用者ごとに考察・分析がなされており、主体性を保つよう取り組んでいる。また逆にホーム側で設定や枠を設けることで規則正しい生活を送ることができるようになるなど利用者の特性にあわせて対応を図っている。</p> <p>家族および成年後見人と協働して利用者の支援にあたっている 金銭管理については利用者の状態や要望にあわせて行っている。家族および成年後見人と協働して利用者の支援にあたっており、コロナ禍にあってもコミュニケーションを図るよう努めている。また新型コロナウイルスワクチン接種についても利用者の気持ちの尊重、関係者の協力により速やかに実施がなされている。</p> <p>生活において役割分担をしており特性にあった手伝いをするよう努めている 利用者が生活において役割分担をしており、職員がサポートしながら利用者の特性にあった手伝いをするよう努めている。利用者の要望や意思を正確に把握する必要性を認識しており、職員が細かなことまで気づくことができる力を身に着けるよう指導に取り組んでいる。研修での研鑽、記録システムの活用を通して進めていく意向をもっている。</p>		
4 評価項目4 利用者が健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の健康状態に注意するとともに、利用者の相談に応じている	○非該当
●あり ○なし	2. 健康状態についての情報を、必要に応じて家族や医療機関等から得ている	○非該当
●あり ○なし	3. 通院、服薬、バランスの良い食事の摂取等についての助言や支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている	○非該当
●あり ○なし	5. 【利用者の薬を預ることのあるグループホームのみ】 服薬の誤りがないようチェック体制を整えている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>利用者の健康状態を把握し、受診支援にあたっている 朝夕のバイタルチェックをはじめ利用者の健康状態を把握し、健やかに生活ができるよう管理と記録に取り組んでいる。「協力病院による診察」、「入居前からのかかりつけ医への継続受診」の双方にて対応を図っている。医療機関に対しては利用者の日常生活・健康状態・変化等を報告し、家族への報告等にて利用者の健康支援にあたっている。</p> <p>看護師を中心に小さな変化に気づき対応できる体制が構築されている 看護師が常駐しており、医療依存が高い利用者に対して小さな変化に気づき対応できる体制が構築されている。また服薬については、利用者の特性に応じ、自己管理と施設管理の双方がなされており、確認用紙を活用しながら誤薬がないようチェックにあたっている。服薬管理を含め利用者の主体性をこころがけており、自立への促しとコントロールのバランスを図るよう配慮している。</p> <p>利用者が安心して生活をおくることができる環境を形成している 各種病院など社会資源が集中する恵まれた立地であり、迅速に医療的ケアが受けられるよう対応を図っている。看護師の配属と併せて利用者が安心して生活をおくることができる環境を形成している。また緊急時の対応については、マニュアルを設置しており、利用者の既往や健康状態を把握し速やかに対応できる体制が整備されている。</p>		

5 評価項目5 利用者の意向を尊重しつつ、個別状況に応じて家族等と協力して利用者の支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 家族等との協力については、利用者本人の意向を尊重した対応をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 必要に応じて、利用者の日常の様子や施設の現況等を、家族等に知らせている	○非該当
●あり ○なし	3. 必要に応じて家族等から利用者・家族についての情報を得て、利用者への支援に活かしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>距離感に配慮し、生活歴を考慮した支援に努めている</p> <p>家族と利用者との距離感に配慮し、生活歴を考慮した支援に努めている。利用者と家族の意向の違いについては双方の気持ちに寄り添いながら、意見を聞きながら支援方針を決定している。毎月のミーティングにおいて話し合いをし、スピード感と柔軟な対応を心がけるよう努めている。</p> <p>利用者の自立とプライバシーの確立を重視し、家族との関係構築を進めている</p> <p>利用者の健康状態、要望などに変化がある場合は家族等に対して速やかに連絡しているが、利用者の自立とプライバシーの確立を重視し、勘案しながら進めている。また利用者の年齢や家族関係を考慮し、家族から安心して任せられるよう配慮にあたっている。</p> <p>利用者や家族の状況にあわせて臨機応変な対応にあたっている</p> <p>家族の負担を減らす、利用者とかかわり方を冷静に伝える、自宅での生活を細かに聞く等々利用者や家族の状況にあわせて臨機応変な対応にあたっている。利用者の加齢とともに家族の高齢化に対しても対応の必要性を認識しており、変わりつつある環境に応じて家族との関係性の構築方法を模索している。</p>		
6 評価項目6 利用者が地域社会の一員として生活するための支援を行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者が地域の情報を得られるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者が地域の資源を利用し、多様な社会参加ができるよう支援を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>利用者の必要としている情報を把握し、提供できるよう取り組んでいる</p> <p>インターネットの活用など利用者それぞれが興味をもつ情報を取得できるよう環境形成がなされている。また日々の生活やヒアリング時に利用者の必要としている情報を把握し、提供できるよう取り組んでいる。余暇や休日は利用者の意思を尊重するよう努めているものの、地域のイベント情報などを紹介し、さらなる充実が図れるよう努めている。</p> <p>「地域の一員として生活するとは何か」について一つの答えを導き出している</p> <p>これまでの生活や活動を継続できるよう配慮がなされており、就労事業所・内職の紹介などがなされている。医療機関、相談支援事業所、行政、地域の店舗などと関係を構築しており、利用者が望む生活に対して協働するよう努めている。開設より医療依存度の高い方々の入居、関係機関との連携など先進的取り組みがなされており、「地域の一員として生活するとは何か」について日常生活支援型共同生活援助として一つの答えを導き出している。</p>		